

香川県立善通寺第一高等学校

11 住み続けられる  
まちづくりを



ダイシモチのスイーツを広めよう

---

## 目的

善通寺市の特産品であるダイシモチムギの認知度を上げることで善通寺市の経済を活性化させることができるのではないか。

## 期間

令和3年6月～令和4年2月

## 場所

善通寺第一高等学校、協力者の家庭、班員の家庭

## 実践者

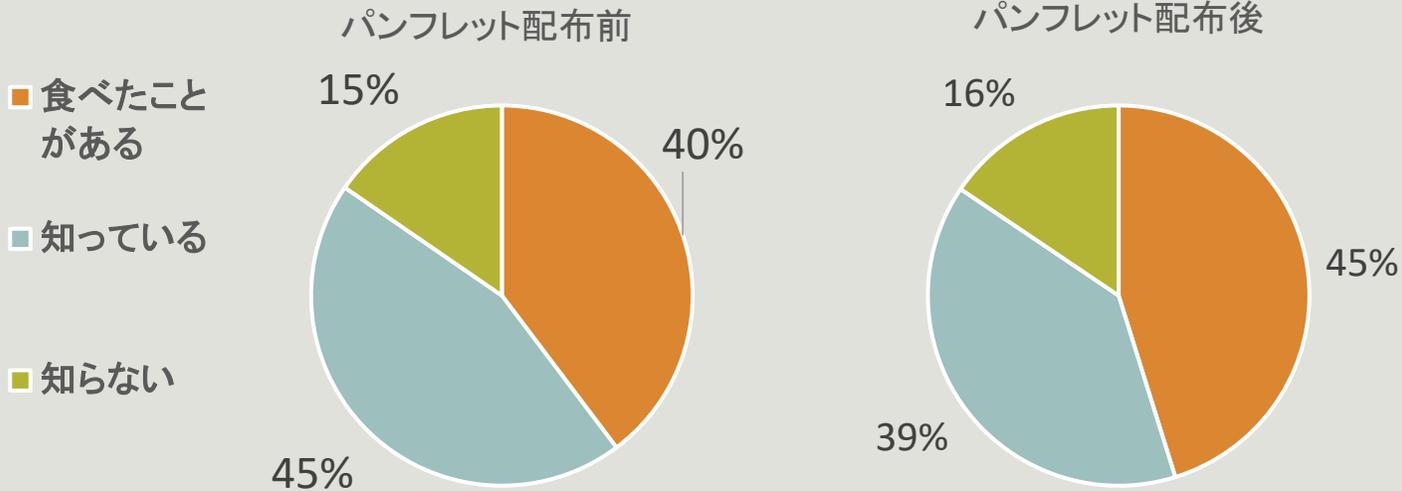
池川友菜・平井啓嗣・宮武峻大

# 内容

- ダイシモチムギから作られるダイシモチムギ粉を使用したスイーツのレシピを考案し、試作する。
- 一部クラスにダイシモチムギの認知度に関するアンケートを実施する。
- 「調理方法が分からない」という意見を受け、考案したレシピをまとめたパンフレットを作成し、1・2年生の各教室に掲示する。また同クラスにパンフレットに関するアンケートを実施する。

# 結果

- 355人中22人がパンフレットに掲載されていたレシピを見てスイーツを作ってくれた。これは、ダイシモチムギ粉が売れたということになり、粉の原料となるダイシモチムギ自体も売り上げが上がったといえるのではないかと。
- 研究を進めていくにつれて、ダイシモチムギ粉の値段や使用用途、入手などいろいろな面での課題も見つかった。
- パンフレットの配布により使用用途が広まり、行内での認知度を上げることができた。今後はより多くの人に広めるために、市役所や幼稚園、保育園などの施設にパンフレットを持っていくことを検討している。



パンフレット掲示後に実施したアンケートでは、1回目の実施の時に比べて「ダイシモチムギを食べたことがある」という数値が増えていた。

